

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第20号

令和3年(2021年) 1月27日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

百人一首大会に寄せて

校長 秋本 泰宏

2月4日(木)の午後から体育館において、全校で百人一首大会を実施する予定です。ご存じのように、百人一首は奈良時代から鎌倉時代初期に詠まれた100首の和歌が集められたものです。和歌には、作者の気持ちが31文字の言葉に込められています。

百人一首では、恋を詠んだ歌が一番多く43首、季節の歌が32首、旅の様子や宮中の様子を歌った歌が25首あります。それを一つ一つ読むと、昔の人々も、現代に生きる私たちと変わらず、生きていることや老いることに悩み、人を恋し、四季折々の自然に心を動かされていたことがわかります。

ただ、百人一首の頃は、現在と季節の分け方が違っていました。それは、地球が太陽の周りをひとまわりするのを一年として計算する太陽暦ではなく、月が地球の周りを一回りする太陰暦を用いていたからです。太陰暦だと暦と季節の間にだんだんズレが生じてくるので、2~3年に一度、13ヶ月ある年をつくり、季節と暦を合わせていたそうです。

ですから、百人一首の世界では、2月は如月という月で春になります。百人一首大会を行う2月はまだ寒いので、春の歌はあまりピンと来ないかもしれません。

百人一首の中から春を詠んだ有名な歌を二つ紹介します。

君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつつ 光孝天皇

春になると芽吹く野草のうち、食用や薬用のものを「若菜」と呼びました。新春に若菜を食べると病気や災いをはらい、その年を元気に過ごせると考えられていました。親しい人の健康を願って若菜を摘んでいる作者の気持ちがわかります。家庭でも、新春に春の七草を使った「七草がゆ」を食べられた家庭も多いのではないのでしょうか。ちなみに1月8日(金)、本校の給食には「七草汁」が出されました。

久方の 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ 紀友則

のどかでうらかな春の日差しを受けながら、風に吹かれて散っていく桜の様子に美しさとはかなさ、さびしさを見いだした歌です。今でも桜の花が散る様子を見ていると、きれいではあるけれども、もの悲しさも感じます。

かつて同僚であった国語科の教師と、なぜ紫式部の「源氏物語」や清少納言の「枕草子」が現代まで残ったのかを議論したことがあります。その結果、美しい日本語を使っているからという結論に至ったことを覚えています。百人一首を詠むと当時の人々の気持ちがわかるだけでなく、日本語の音の響きの美しさも学ぶことができます。

当日は、新型コロナウイルスの感染に十分配慮して実施する予定です。ご家庭でも、食事の時などに好きな歌や覚えている歌を話題にいただければ、百人一首大会も一層盛り上がると思います。



1/22 1年生道徳の授業研究の様子

「0～礼からつながる心の輪～」

冬休みに行われた校内リーダー研修を経て、令和3年度の生徒会スローガンが「0～礼からつながる心の輪～」に決定しました。

1月8日（金）の所信表明で、生徒会長は、このスローガンについて以下のように述べました。



生徒会長による所信表明の様子

生徒会長所信表明（要約）

「0」には、原点のような意味があります。また、「0」は、「ゼロ」とも読みますし、「れい」とも読みます。このことから「0」と「礼」をかけました。それは、礼儀を大切にしたい生徒会において、「礼」は礼儀の原点であると考えたからです。

また、「礼からつながる心の輪」とは、礼儀だけを重視すると形にこだわり、人と人の間に距離を感じる場合があります。そのため、心が通じる礼を大切にすることで、表面的なつきあいだけでなく心の核がつながってほしいと考えたからです。そのつながりが1人また1人と増えることで、最終的に全員がつながり、「0」のような輪ができてほしいという願いから考えました。

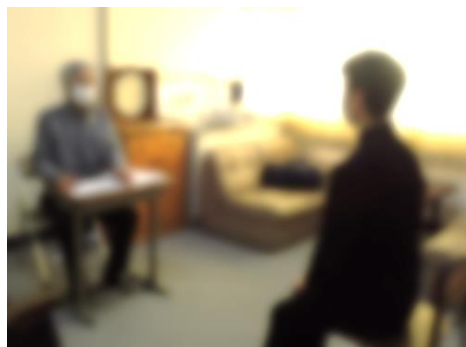
さらにこのスローガンを達成するために二つのチャレンジ目標を設定しました。

まず、相手の気持ちを考え、時・場所・場合に会う言葉づかいができるように「TPOに応じた正しい言葉づかいをしよう」です。

もう一つは、学校内だけでなく、地域の方にも、立ち止まり、礼と明るい声であいさつができるように、「気持ちのこもったあいさつで親しみやすい関係を築こう」です。

私一人ができては意味がありません。全員ができるようご協力をお願いします。

錦中生徒全員が、このスローガン達成に向けて頑張ってもらいたいと思います。



面接練習の様子

夢の実現に向けて

現在3年生は希望する進路に向けて、家庭でも睡眠時間などを削ってラストスパートをしているところだと思います。

錦中学校でも、地域から6人の方に来ていただき、1月12日（火）から面接練習の仕上げに入りました。

生徒は、教職員と練習するよりも緊張感をもって練習に取り組んでいます。

協力していただいた地域の方に良い報告ができる

ためにも希望する進路に道が開けることを信じています。

「ほたろう」と「ほたみ」です。

少し遅くなりましたが、文化祭の際に総合文化部（制作）が制作発表した錦中のキャラクターの名前が決まりましたのでお知らせいたします。

男の子のキャラクターを「ニシキング ほたろう」、女の子のキャラクターを「ニシクイーン ほたみ」という名前に決定しました。

今後学校行事等で、この二人のキャラクターが活躍してくれることを期待しています。



総合文化部（制作）の作品